

学校だより 5月号

学校教育目標

★「未来を拓く」東荷小教育

つ…強い心と体を持ち、か…賢い頭をつくり、り…立志の実現のために努力を続け、は…自分自身の花を咲かせる、たくましい東荷っ子の育成。

校 報

つか り

東 荷

(何事も誠実に親切に)

平成27年(2015年)5月1日現在

1年… 1名 2年… 3名

3年… 0名 4年… 6名

5年… 4名 6年… 1名

児童数 合計 15名(11家庭)

○発行：光市立 東荷小学校

○文責：[校長] 三浦龍夫

★情報があれば、お知らせ下さい！

当たり前のことを当たり前にする

それができている東荷小の子どもたち

校長 三浦龍夫

5月1日、島田中学校において光市教育研究会が開催されました。そこで何気なく廊下の掲示板を見ると巻頭の「当たり前のことを当たり前にする」という言葉が目に入りました。偶然にもその日の朝、全校朝会での私の話と一致していました。

テレビでマラソンや駅伝を観るのが好きな私は、2年前のお正月、大学生の箱根駅伝を観ていました。その時は日本体育大学(日体大)が優勝しました。もちろん血の滲むような練習もしたと思いますが、その年の日体大のスローガンは「当たり前のことを当たり前にする」だったのです。では日体大の当たり前とはなんでしょうか。

①大きい声で相手よりも先に、きちんと礼をして挨拶をする。

②寮の部屋やグラウンドの掃除を本気でする。

③早起きをして全員でいっしょに朝ご飯を食べる。

東荷小の子どもたちに置き換えてみましょう。朝通学路を逆に歩いていると何十疋も先から「校長先生お早うございます」と言ってくれる子がいます。授業中廊下を歩いていると、にっこり笑って会釈をしてくれる子がいます。とても嬉しくなります。

朝は1番にマラソンから始まります。10分足らずでも意外に長く感じます。毎日続ける子どもたちは素晴らしいです。その後のグラウンドの除草も時間いっぱい無言でし続けます。早起きや朝ご飯は個人差があるでしょうが、集団で元気に登校しています。

東荷小の学校目標の つ…強い心と体を持ち…を私は ○きまりを守る子 ○外で遊ぶ子 と位置づけています。

以前大河ドラマか何かで「ならぬものはならぬ」というきめ台詞がありましたが、私は折につけ子どもたちに「やりたくなくてもしてはいけないこと(我慢すること)」、「やりたくなくてもしなくてはならないこと(続けること)」の大切さを伝えていきたいと考えています。

— 東荷小、こんな魅力ある学校を創ります —

★5つのチャレンジ目標～安全・安心・・・愛は勝つ！

あ・・・いての名前を呼んだ、あいさつ日本一のげんきな学校に

い・・・じめ…不登校0の子どもが行きたい学校に

は・・・ないっばいの美しい環境をもった学校に

か・・・んどうし、かんしゃの気持ちを忘れない学校に

つ・・・づけることで、保護者、地域から信頼される学校に



①元気・・・元気が何よりも宝物！

②本気・・・何事も本気で取り組む

③根気・・・継続は力なりで夢実現

④勇気・・・人より先んずる勇気心